

東京都健康長寿医療センター内科後期研修の特徴

I. 当センターの後期研修プログラムの5つの目標 (GIO)

- ① 当センターなどの急性期病院の内科系の常勤の専門医となる
研修終了後、常勤医希望の場合には優先的に採用します。
- ② 高齢者医療や総合診療もできる内科の Subspecialist になる
旧制度なので2つの科の専門医（例えば循環器専門医と老年病専門医）も取得可能です。
- ③ 高齢者医療のエキスパートになる
認知症、フレイル、サルコペニア、高齢者の栄養、薬物療法、在宅医療、緩和医療、地域包括ケアなどを幅広く学び、チーム医療を実践する医師になる
地域と連携しながら、高齢者を支える医療が実践できるようになる
- ④ 臨床研究を行いながら臨床もこなすリサーチマインドを備えた医師になる
学会発表や論文発表ができるようになり、臨床研究の楽しさを実感できます。
- ⑤ 将来、日本における高齢者医療や老年医学をリードする医師になるための
基礎を築く

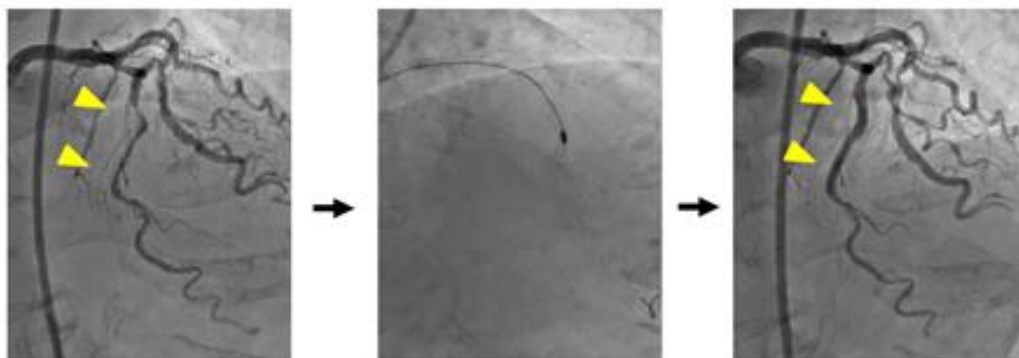
II. 後期研修プログラムの実際

① 最先端の内科的医療および高齢者医療を多くの患者、仲間、指導医とともに学ぶ

② 内科各領域 (Subspeciality) の幅広く、かつ専門的な研修 (図1、図2) を行うことができる

循環器内科、神経内科・脳卒中科、消化器内科・内視鏡科、糖尿病・代謝・内分泌内科、呼吸器内科、膠原病・リウマチ科、腎臓内科・透析科、血液内科・化学療法科、感染症内科、総合診療科、緩和ケア内科の計11科の内科各科のほとんどに複数の指導医がいて、その指導のもとに内科認定医、総合内科専門医、subspecialityの専門医を取得することができる。

内科指導医数：28人



Heart Failure Congress 2010 - Berlin, Germany
29 May - 3 June 2010

図1 ロータブレータを用いた高度石灰化病変に対する冠動脈カテーテル治療

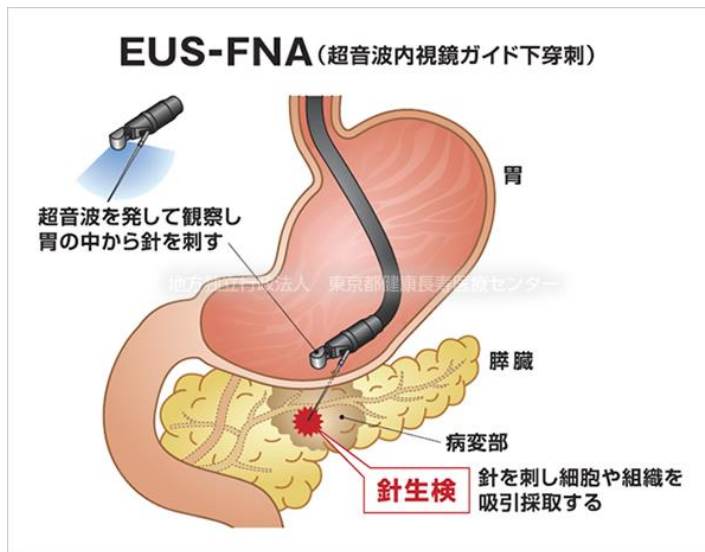


図2 膵腫瘍に対する EUS-FNA

③ 高齢者医療や老年医学の研修ができる

複数の病態を持った高齢者の診療のみならず、高齢者総合機能評価、多職種による退院支援カンファレンス(図3)、フレイル外来(図4)、地域包括ケア病棟、栄養サポートチーム (NST)、緩和ケアなどのチーム医療などを学ぶことができる。

日本老年医学会の老年病専門医を取得できる。



図3 多職種による退院支援カンファレンス



図4 フレイル外来による握力、歩行速度の測定

④ 地域連携（医師会、介護施設、行政など）を学ぶ

例えば地域の医師、看護師、介護担当者を交えた退院指導、医師会との共同の研修会や講演会、2人主治医制の診療などの活発な地域連携を展開しているので、地域包括ケア体制下での医療、医師のあり方を学ぶことができる

⑤ 学会発表が盛んでアカデミックな研修が可能

多くの学会発表や論文発表などを経験することができる。

平成27年度の内科全体の学会発表数は130（研修医は29）、誌上発表数210。

⑥ 臨床研究や基礎研究も経験可能

内科各科それぞれで、または併設する研究所との共同で臨床研究を行い、リサーチマインドがある医師を目指す。希望があれば、統計学の基礎知識に関する研修、研究所で社会医学あるいは基礎医学の研究も行える。

⑦ 多くのCPC（教育病院中で全国第8位）と剖検（教育病院中で全国第2位）

⑧ 救急外来や内科外来の研修で若い人の症例も経験できる

救急外来週1コマ行う。

内科外来または内科 Subspeciality の外来を週1コマ行う。

フレイル外来または物忘れ外来でフレイルを考慮した診療や認知症の診療を経験する。

⑨ 他の病院や大学病院での研修も可能

多彩な症例を経験するために3~6カ月間可能。

⑩ 在宅医療（訪問診療医療）の研修も可能

連携する施設、クリニックの協力のもとで3か月間在宅医療を経験できる。

Ⅲ 研修期間と研修スケジュール

研修期間：原則 3 年間

(1 年間研修して、他の病院や大学院に進学することも可能)

研修スケジュール：内科 Subspeciality 希望でも総合内科希望でも可能

(モデル 1 またはモデル 2 参照)

初期研修医と異なり、研修ローテーションの内容や期間を柔軟に変えることができる。

モデル 1：内科 Subspeciality の希望がある場合

(例えば糖尿病・代謝・内分泌内科志望の場合)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年目	糖尿病・代謝・ 内分泌内科			総合内科で 高齢者医療研修			腎臓内科			糖尿病・代謝・ 内分泌内科		
2 年間	糖尿病・代謝・ 内分泌内科			糖尿病・代謝・ 内分泌内科			糖尿病・代謝・ 内分泌内科			B 病院で糖尿病研修		
3 年目	糖尿病・代謝・内分泌内科											

内科 Subspeciality は循環器内科、神経内科・脳卒中科、消化器内科・内視鏡科、糖尿病・代謝・内分泌内科、呼吸器内科、膠原病・リウマチ科、腎臓内科・透析科、血液内科・化学療法科、感染症内科、総合診療科、緩和ケア内科の計 11 科から選択する

モデル 2：総合内科志望または内科 Subspeciality の志望が決まっていない場合

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年目	総合内科で 高齢者医療研修			糖尿病・代謝・ 内分泌内科			循環器内科			消化器内科・ 内視鏡科		
2 年間	呼吸器内科			A クリニックで 在宅医療			腎臓内科			神経内科・脳卒中科		
3 年目	緩和ケア内科			膠原病・リウマチ科			血液内科			総合内科で 高齢者医療研修		

研修管理委員長 荒木 厚